

不動産鑑定業界と不動産市場の動向に関する定期調査(2022年1月現在)

整理番号	団体名	国名	設問1 不動産鑑定業界分野のトピックや貴団体の活動に関するご意見をお書きください。□
			回答
1	API (オーストラリア不動産協会)	オーストラリア	APIは、全会員を対象とした有限責任制度をさらに5年間更新した。これにより責任範囲が制限され、専門職業賠償責任保険に掛かる費用の改善だけでなく、教育要件や専門職の認知度を高め、専門家としての地位の向上につながる。2020年の新型コロナウイルス感染症発生以来、初となる対面での全国会議を4月20日から22日にゴールドコーストで開催する。
2	JAREA (日本不動産鑑定士協会連合会)	日本	JAREAは昨年6月に理事会の役員を一新した。企業の事業活動や投資活動のグローバル化が継続する中、JAREAの活動はグローバル化に対応し、不動産分野においても国際的な実物不動産の国境を越えた取引や、それに伴うファイナンス、不動産投資信託、不動産商品及び関連取引への投資が増加している。JAREAは、不動産鑑定を取り巻く環境の変化をビジネス創造のチャンスと捉え、鑑定のグローバル化に向けた様々な活動を推進している。具体的には、(1)評価基準のグローバル化への対応、(2)業務領域の拡大、(3)国際協力の推進を国際的な活動の3本柱とし、現在、海外の専門機関の協力を得て、着実に取り組んでいる。
3	RISM (マレーシア測量士協会)	マレーシア	我々は、鑑定士、不動産業者、物件業者から成るマレーシアの不動産鑑定団体を代表し、会員、若手の専門家を対象に講演会、セミナー、そしてマレーシアの大学で不動産を専攻する学生のためのキャリア講習会等の開催を含む様々な活動を行っている。最近3月に全国不動産会議を主催し、企業、現役の不動産鑑定士、政府関係者、学者らが出席した。